

# 人形劇の名舞台を振り返る

Play Back the Stage



2006 人形劇団むすび座『西遊記-天竺への道の巻-』  
脚本・演出：関矢幸雄 舞台美術：有賀二郎  
人形美術：おぼらしげる(アトリエ織道)



2019 劇団ドクトベッパス『うしのし』

当センターの理事を拝命した10年前から現在にかけて、当たり前のことですが人形劇の観客として劇場にいたるが増えました。今回はその中から迷いに迷った結果、年代順に私が拝見した3本の作品について絞って振り返ってみたいと思います。

1本目は、沢則行『NOVE KOUSKY(ノヴェーコウスキイ)』。2005年7月、先日もゆめみトランクのひまわりホール公演に登場した、沢さんの作品に初めてお目にかかったのがこの時でした。わずか70分のうちに展開する、9つの「セリフのない舞台」の上で吹く風や鳥の鳴き声、それらの持つ豊かな「言葉」の存在に、心を驚つかみにされたのを覚えています。その時には人形劇に対して特段の興味も関心もなかった自分が、初めて受けた衝撃と言えるかもしれません。

2本目は、人形劇団むすび座『西遊記-天竺への道の巻-』。『西遊記』は1970年代末からむすび座の代表作として上演が重ねられた作品ですが、私はその終演に間に合いませんでした。しかし、当時の職場の関係で、2004

年に製作された本編には、2006年の秋に触れることができました。1本の白いロープで造形できないものはないと思われくらゐの自由自在さに、横で見ていた児童以上に驚き、感激したのを記憶しています。

そして最後は、昨年までコンペティション形式で実施したP新人賞で出会った作品の中から、2018年度に最終上演審査に登場した劇団ドクトベッパス『うしのし』を挙げておきたいです(2019年2月)。惜しくも受賞には至りませんでした。前の2つと共通する、言葉を用いずにいかに語るか、という意味において、観る者の記憶に残る作品でした。現在も東京・北区を拠点に活動を続けているとのことですので、ぜひさらに研鑽を積んでほしい作品を作っていただきたい。そして、いつかひまわりホールに帰ってきていただきたいものです。

愛知人形劇センター副理事長 ニシムラタツヤ

人形劇の新たな創造の可能性を追求するクリエイション企画

# P新人賞NEXT 上演団体募集

●上演会  
2024年2月23日(金)・24日(土)  
場当たり・ゲネプロ：2月22日(木)  
会場：損保ジャパン人形劇場 ひまわりホール

●選考スケジュール  
第1次選考締切▶2023年9月8日(金)23:59  
第1次選考発表▶9月末までに応募全員に通知  
第2次選考(面談)▶10月上旬に実施(オンライン面談)  
上演団体決定▶11月上旬(二次選考通過団体には10月末までに通知)  
レジデンス稽古：12月～2月の間で7日間  
上演会 2月23日(金)13:00 / 18:00  
2月24日(土)13:00 ※討論会あり

●コメンテーター  
藤田光平(日本ウニマ会長、人形劇団クラルテ)  
智春(演出家、振付家、肉體劇作家、クラウン、チキキパークウ主宰)  
小林七緒(演出家、俳優、一般社団法人日本演出家協会常務理事、流山児★事務所)  
高橋一元(特定非営利活動法人愛知人形劇センター理事長)

●応募資格  
・2月22日～24日の仕込みゲネ及び上演会に参加できること。  
・人形劇やオブジェ+身体表現を使った斬新な作品を募集します。  
・上演時間は45分以内。  
・年齢、経験、拠点、国籍、アマ・プロは問いません。  
・個人制作・団体制作とも可能です。  
・上演作品の著作権は団体側で処理をお願いします。  
・ひまわりホールの劇場条件をご確認の上、ご応募ください。

その他、詳細は愛知人形劇センター公式サイトでご確認ください。  
[https://aichi-puppet.net/p-newface\\_next/](https://aichi-puppet.net/p-newface_next/)

応募フォーム： <https://forms.gle/jHV5Bq5mT1tMwVym6>  
資料請求： [mail@aichi-puppet.net](mailto:mail@aichi-puppet.net) P新人賞NEXT係



応募フォームは  
こちらから!

舞台芸術の第一線で活躍するアドバイザーと共に新たな作品を創造!



特定非営利活動法人  
**愛知人形劇センター**  
〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-22-21  
損保ジャパン名古屋ビル8F  
TEL 052-212-7229 FAX 052-212-7309  
<https://aichi-puppet.net/> MAIL: [mail@aichi-puppet.net](mailto:mail@aichi-puppet.net)

愛知人形劇センター  
ひまわりホール情報誌  
**あぶ**  
愛知人形劇センター  
通巻323 2023年夏号  
発行：特定非営利活動法人 愛知人形劇センター  
発行人：高橋一元  
編集人：中康彦  
デザイン：江利山浩二(KINGS ROAD)  
編集：小島祐未子(常務編集委員)

©愛知人形劇センター ※本誌記事・写真・イラストの転載を禁じます。

# あぶ

Aichi Puppetry Center  
ひまわりホールから  
発信する  
シアター情報誌



## 日本とブルガリア 言葉と心を通わせた傑作



人形劇団ブークソフィア人形劇場(ブルガリア)「カモメに飛ぶことを教えたドラ猫の物語」  
原作：ルイス・セプルベダ、脚色：カティア・ペトロヴァ、イナ・ホジダロヴァ、演出：カティア・ペトロヴァ、美術：マイヤ・ペトロヴァ、音楽：スタヤン・ロヤノフ“Ya-Ya”  
画像提供：パティオ池壁館

2023 SUMMER  
VOL.323  
<https://aichi-puppet.net/>